

## Questionnaire survey on perceptions and utilization of campus shuttle bus system among university students in Khon Kaen Tahilandに関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学（ヘルスイノベーション研究科）では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2021年9月17日 ～ 2024年3月31日
研究課題	Questionnaire survey on perceptions and utilization of campus shuttle bus system among university students in Khon Kaen Tahiland （タイ、コンケン大学キャンパス内のシャトルバスに対する学生の認識と利用についての質問紙調査）
研究の概要	<p>目的及び意義：公共交通機関が未発達な開発途上国では、自家用自動車・二輪車への依存により、交通渋滞、大気汚染、交通事故などの問題が生じる。タイのコンケン大学ではシャトルバスシステムが広大なキャンパス（900ha）をカバーしており、タイにおける自家用交通から公共交通への行動変容の可能性を調査しうる稀有な環境である。COVID-19の感染拡大は学生の交通行動に影響を与えた可能性もある。本研究では、コンケン大学の学生を対象に、学内公共交通であるシャトルバスに対する意識およびCOVID-19に対する意識と、交通行動との関連を明らかにする。本研究の結果は、将来的に公共交通機関の整備が期待されるタイの都市部における交通行動を促す施策の策定に資するはずである。</p> <p>対象：コンケン大学の学部学生（3年生以上）及び大学院生を対象とする。パンデミック前後の大学キャンパス内の交通行動変化を見るために、対象を3年生以上とした。</p> <p>方法：学生が属するFacebook Groupを通じて、オンラインサーベイを行う。調査の内容は、学内シャトルバスの利便性などをどう感じているか、バスの利用頻度、学内移動手段、COVID-19の感染リスク見積もり、パンデミック前後の交通行動変化、交通行動変容を促す動機付け情報への関心などである。参加者は、Facebook Group上に掲示された調査についての説明文書を読んだ後に自由意志で調査のページに進み匿名で回答する。匿名での調査であるので、回答の送信をもってImplied consentとみなす。</p>
研究組織	<p>研究代表者：中原慎二（ヘルスイノベーション研究科・教授）</p> <p>研究分担者：谷口綾子（筑波大学・教授）</p> <p>吉田穂波（ヘルスイノベーション研究科・教授）</p> <p>Piya PONGSAPITAKSANTI（京都産業大学・教授）</p> <p>Juraporn TANGPUKDEE（コンケン大学・講師）</p> <p>Wasana RUAISUNGOEN（コンケン大学・講師）</p> <p>Pattamaporn WONGWIRIYA（コンケン大学・講師）</p>
個人情報の取扱い	該当なし（無記名調査であり、個人情報の収集は行わず、要配慮情報の収集も行わない）。
その他	

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者：ヘルスイノベーション研究科 教授 中原慎二

TEL：044-589-8100（代表）